

号外！

全国ソフトバレー
レディース&メンズ交流大会
に参加された10チームから
ご寄稿頂きました。



北海道ソフトバレーボール連盟 便り



平成23年12月3日 H23年一号外-01
北海道ソフトバレーボール連盟
総務副委員長(広報担当) 滝本 久子
〒047-0034 小樽市緑3丁目10-26
TEL・FAX 0134-25-8706
E-mail taki3@s3.dion.ne.jp

北海道ソフトバレーボール連盟創立20周年記念

平成23年度

全国ソフトバレー・レディース&メンズ交流大会 に参加して

【たんぽぽ (札幌連盟) 代表 古川 弘美】

全国大会を終えて今の一番の感想は、こんなに楽しい、素晴らしい舞台上で各県のチームと試合が出来た喜びでいっぱいです。

予選では、香川県・静岡県・栃木県と対戦しましたが、どこも強豪で各チームの色があり、特に香川のチームは、トス回しの速さコンビネーションの攻撃には苦労しました…。静岡のチームはとても元気がありポイント時の「最高！」の掛け声が印象的でした。

決勝トーナメント戦では、岩手県・長野県でしたが個人的に岩手のチームとは、主人の出身地で、今回の震災では沢山の友人や母校を失いました。なので…。とてもやりずらかったのを覚えています。ですが生涯スポーツのソフトバレーです。一生懸命戦い、楽しくを心掛け、そして全県のチーム力を感じました。

チームの結果も2位通過ではありますが優勝することが出来て満足しています。

ですが、…。最初はチーム内にも色々あり、予選大会直前に、7名での出場を決めたので、予選までの練習時間が残り無く…。結果繰上げ出場待ち。出られる事を信じ、その後メンバーの気持ちを一つに、そして、プレーでのポジショニング一つ一つを皆で確認しながら部長や他のメンバーに協力して貰い日々練習を重ねて当日を迎える事が出来たのです。

振り返ってみて、今の思いは一人一人個性的でとても良いメンバーに恵まれ、本当に結束の深いチーム「たんぽぽ」が出来たと、皆んな良く頑張ってくれたと思います。

私事ですが、途中膝を痛め半月板断裂というアクシデント…。出場を諦め手術をするか悩みましたがメンバーやチームの部長でも在る主人と良く話し合い何とか緩和治療をしながら出ることに決めました。時には痛さで、思い通りのプレーが出来ず気持ちが折れそうな私をメンバー皆んなが、励まし、支えてくれて何とか乗り越える事が出来たと思います。メンバーの皆んな！本当にありがとう。感謝の気持ちでいっぱいです。そして最後までコートに立ち、皆んなとプレー出来た事を、聞えた事を、本当に嬉しく、今では辛さも良い思い出になりました。今後も次の目標を持って頑張っていきたいです。

【Fortune B (札幌連盟) 代表 丸山 政子】

一生に一度の全国大会出場になると思い、ケガ人ばかりのチーム事情を押して出場させて頂きました。

何から何まで初めての事だらけの中、アタフタするばかりで楽しみ方が解っていなかったようです。折角全国のチームが集まっているのに、慌ただしくて他のブロックのゲームを見ている暇もなく、親睦を深めるチャンスはあまり無かったです。

役員の方々や色々な方々に沢山お世話して頂きながらの二日間でしたが、アッ！という間に終わってしまいました。とても早かった…。

良い成績は残せなかったですが、とてもよい経験になりました。この先も機会があれば又参加したいです。最後に役員の方々、本当にありがとうございました。

【トラスト (札幌連盟) 代表 熊谷 ひとみ】

先日開催された全国大会に参加し、とても良い経験をさせて頂きました。まず始めに、大会開催にあたり計画・運営を行って下さった役員の方々にお礼と感謝を申し上げます。

結成してまだ2年と経験の浅いチームの私達ですが出場する以上は精一杯戦い、楽しむ事に決めました。

当日は、楽な試合ばかりではありませんでしたが沢山の事を学びました。巧みなプレー、ハイレベルの審判、他県の方との交流、北海道代表の中での新たな交流も出来ました。今回の経験を大切に胸にしまって、これからもソフトバレーボールを楽しんでいきたいと思っています。

【AKsystem (札幌連盟) 代表 幸松 小百合】

全国ソフトバレー・レディース&メンズ交流大会に今回初めて参加することになり9月9日～11日までの3日間、チームAKsystemとして参加させて頂きました。

普段、道外チームとの交流がない中、今回の交流大会では、他のチームの白熱した試合を見る事が出来たり、交流パーティーでは、色々な方とお話することが出来たりと、とても楽しく過ごすことが出来た3日間でした。この大会を通して、道外チームとの交流の場があったことは、良い経験になりました。又、機会があれば参加してみたいと思います。

【ケロッピーズ (北広島連盟) 代表 昆 喜代美】

ケロッピーズは全国大会に北海道代表として参加優勝することができました。当日は「きたえーる」の会場の雰囲気呑まれ、全国からの強者の皆さんの迫力に押され、どきどき、びくびくの大緊張でした。でもこれが全国大会の空気。楽しむ事に気持ちを切り替え予選リーグの3勝に繋がりました。夜のアサヒビール園の交流会では、対戦相手の沖縄の方から「練習試合に沖縄までお出で下さい」福井の方から「風邪で体調不良。万全で戦いたかったワ。でも強かったです」と、どちらも嬉しいお言葉でした。決勝トーナメント戦では、地元の皆さんから沢山の応援・激励と「おめでとう」を頂き本当に感激しました。決勝戦は最高の集中力とチームワークを発揮出来た試合でした。優勝と多くの交流を楽しんだ忘れられない大会となりました。最後に今大会開催にご尽力頂いた皆様に心から感謝申し上げます。

【函館高盛飛鳥A (函館連盟) 代表 山根 政子】

私達のチームは結成して17年目を迎えますが、全道代表として全国大会に初出場できた事をとても嬉しく思っています。全国各地から様々なチームが参加し熱戦が繰り広げられましたが、一番印象に残ったのは強打で決めるというだけでなく、相手のいない所を狙うという技術の高さです。試合をしている時もそうですが普段見る事の出来ないチームの試合運びを観戦してブロックをかわす技術の高さ、相手のコートを見て瞬時の攻撃の組み立て等目を見張らせられる事が多くありました。

3位グループ3位という結果はややもの足りなかったのですが、この大会は私達にとって今後に向けての収穫が沢山あり、素晴らしい思い出となりました。大会を企画運営して下さい皆様感謝の気持ち一杯です。ありがとうございました。

【ペガサス凜 (札幌連盟) 代表 泉谷 早苗】

私達の実力ではとても参加出来ない大会でしたが「天の声？」により運よく参加出来ることになりました。

大会間際になり、主力の二人が参加出来なくなったりと山あり谷ありでしたが、皆の協力もあり何とか出場にこぎつけました。試合は楽しく、真剣にプレーさせて頂きました。また全国各地で私達と同じようにソフトバレーボールが好きで汗を流している方々と試合、交流が出来、チームを超えてのつながりも感じる事が出来ました。生涯スポーツとしてこれからも身体が持ちこたえてくれる限り、楽しくやっていきたいと思っています。大会運営本当にご苦労様でした。そしてありがとうございました。

【フェニックス (札幌連盟) 代表 萬年 純治】

生まれて初めての全国大会。最高の仲間と挑んだ試合。結果は、満足とは言えないが、最高に楽しかったです。とても良い思い出が出来ました。この経験を、これからのソフトバレーに活かしたいと思います。素晴らしい会場で競技をやらせてもらいありがとうございました。

最後に 大会前日まで貴重な練習時間を私達のために優先的に使わせてくれたチームのメンバーに只々感謝！ 感謝!! 感謝!!!

【ゼロス (札幌連盟) 代表 滝本 和義】

全国ソフトバレー・レディース&メンズ交流大会に北海道の代表として参加させて頂きました。

金曜日夕方からの開会式から始まった3日間の大会に選手は、今までにない緊張と不安で臨んだ大会だったと思います。だが試合が始まるとその緊張感も徐々にとれ選手は自信を持って自分達のプレーをしてくれました。結果2位グループ準優勝と目標には今一歩手が届かなかったですが、数十年に一度の大会に参加し、選手一人一人の人生においても貴重な体験を心に刻んだ事と思います。

最後に、我々は3日間の大会でしたが、役員の皆様の1年以上も前からの準備や、全道各地の連盟役員のご協力により、全力でプレーする事が出来たと思っています。感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございました。これから我々チームゼロスも北海道のソフトバレーボール発展に向け、底辺拡大等少しでも協力していけたらと思っています。

【手稲曙倶楽部 (札幌連盟) 代表 岩渕 武夫】

初めて選手として全国大会に参加させて頂き、ソフトバレーが如何に全国各地で愛されているかを感動と共に知る事が出来ました。

過去何回か、郷土の代表として参加されているチームは、技術や試合運び、マナーの良さなど見習う部分が大変多く、これが全国大会レベルのチームなのかと驚くばかりでした。

交流会では、対戦したチームや震災に遭われた地方の代表チームとの情報交換など、有意義な場を設けて頂き、全国ソフトバレー・レディース&メンズ交流大会に相応しい素晴らしい大会を体験させて頂きました。

延べ200人以上の大会役員・スタッフの皆様には大変ご苦労をお掛けしました。チームを代表しまして心から感謝とお礼を申し上げます。

掲載順不同